



十中だより

令和3年12月17日
文責 奈加晃典

めざす生徒像

- ☆自ら進んで学び、考えて行動できる生徒(確かな学力)
- ☆勤労と責任を重んじ、礼儀正しく協力できる生徒(豊かな人間性)
- ☆自他の生命を尊重し、心身を鍛える生徒(健やかな体)

校訓

自主 協働 剛健

令和3年も終わりが近づいてきました

今年も残すところあとわずかとなりました。
あなたにとっての令和3年は、どんな年だったでしょうか・・・
今年と昨年度は言うまでもなく、新型コロナウイルス感染症の蔓延によって、翻弄された年だったわけですが、そんな中であっても色々なことに頑張れたと言える年であって欲しいと思います。

PDCA サイクルを大事にして欲しいという話は過去にもしましたが、反省として1年を思い返す時に、一度やってもらいたいことがあります。それは、何となく今年1年間を思い出すのではなく、1ヶ月単位で思い出して見てください。令和3年1月はどうだったか？2月はどうだったか？という風に、ある程度具体的に短く区切った反省をしてみると、次の年度に向かっての目標が思い浮かびやすくなると思います。

新しい年の出発の時にはすがすがしい気持ちで、新たな目標をもって、スタートを切りたいものです。

3年生は言うまでもなく、1月末には和歌山私学入試、2月には奈良県私学、大阪私学、その後公立特色選抜、一般選抜とあっという間にその時はやってきます。いつも言うように、時間はみんなに平等に与えられているものです。それをどう使うべきかは自分にかかっているわけですから、有意義に活用しましょう。

**「今日をどう生きるかで 朝日の昇る美しさが変わる
明日をどう夢見るかで、夕日の沈む美しさが変わる」**

下の挿絵に載っているサンタクロース
どうして赤い服を着るようになったか知ってますか？
歴史上は、モデルとなった聖ニコラスという司教が着る司教服の正装が赤だったことに由来しているのですが、実はその時代には赤だけでなく、様々な色のサンタクロースがいました。
世界中に赤色が定着したのは、コカコーラの会社がサンタに赤い服を着せてコーラを飲むCMを作ったことから、自然と赤に定着してしまったそうですよ。意外なことから始まっていますよね。



学校評価アンケートの実施について

今年度も学校評価に関するアンケート調査を実施させていただきます。
先日、配布させていただきましたアンケート調査にご記入いただき、三者面談時等をご利用して、ご提出よろしくお願ひいたします。

今年度から、「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」を選択していただいた場合は、その理由をお書きください。

子どもたちの成長を願い、良き大人への成長の手助けをしながら、子どもたちが生き生きとした学校生活を送れるよう、いただいたご意見を真摯に受け止め、改善の指標としていきたいと思ひます。年末のお忙しいところ恐縮ですが、何卒よろしくお願ひいたします。

冬至

今年の12月号でも紹介しましたが、もうすぐ冬至です。
いわゆる、1年の中で一番昼が短い日になります。

去年は12月21日でしたが、今年は12月22日になります。

「二十四節季」という言葉は聞いたことがあるでしょうか？

1年を4つに分けた、春夏秋冬。そのそれぞれを6つに分けたものが、二十四節季と呼ばれるものです。夏至、春分、秋分等にあたるわけです。

北欧の国では、冬至になると日中でも太陽が昇らない、「極夜」という現象が起きます。その時に、木の幹を燃やし太陽の復活を祝う儀式を行ったらしいです。それが後の世になり、みなさんも知っている、「ブッシュド・ノエル」という木の幹を型どったチョコレートケーキになったらしいです。

日本ではどうでしょうか。カボチャを食べたり、ゆず湯に入ったりという習慣は有名ですね。カボチャは別名「南瓜」と言われます。にんじん、きんかん、寒天、うどんなど、最後が「ん」で終わるものを食べることで開運を願う意味があるそうです。中国でも餃子を食べたり、「冬至団」といわれる、白玉粉で作られたスイーツを食べる習慣があるらしいです。

世界の国々で様々な風習があるようですが、何にせよ冬至という日が季節の大きな変わり目として、大事にされてきたことに変わりはないようです。

みなさんも、カボチャを食べてゆず湯にゆっくりと浸かって、1年で1番長い夜を楽しんでみてください。

